

広報

# やまと

1 月号  
2018 No.255

祝

大河ドラマ「<sup>せご</sup>西郷どん」放送開始



© 鹿児島県

## もくじ

- 02-03 特集1：新年のごあいさつ
- 04-05 特集2：新成人の誓い
- 06-07 特集3：福祉まつりを振り返って
- 08-09 シマの話題
- 10-11 連載：ワンダー奄美（地域おこし協力隊通信）ほか
- 12-14 お知らせ
- 15 島の宝、ほか
- 16 昭和天皇と宮古崎

大河ドラマ「<sup>せご</sup>西郷どん」

オープニング撮影地

宮古崎

(奄美群島国立公園)

# 謹賀新年



平成三十年 元旦  
大和村長 伊集院 幼

村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様には、輝かしい平成30年の新春をご家族おそろいでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は戊年でございます。戊年生まれの方は、誠実で真面目な性格であり、一途に身をこめていして献身的につきし、心がやさしく親切であると言われております。

また、会社や組織の縁の下の力持ち的な役割に喜びを感じ、力を発揮するようです。本年が、ご家族にとつて、実りある一年となるよう、心から願っております。

さて、昨年は、奄美においては、例年の事ではありませんが、大型台風が数度来襲し、公共施設や農業を中心に大きな被害がありました。大自然の驚異を改めて思い知ったところでありました。

そのような中、昨年の3月7日には、奄美群島が国立公園に指定されるといううれしいニュースがありました。いよいよ群島民悲願の世界自然遺産登録も、もう間近となってきました。また、3月下旬には関西空港から奄美へのLCCの就航により、交流人口が拡大されているほか、NHKの大河ドラマ「西郷どん」が放送開始されるなど、多くの追い風が奄美に吹いております。それらを契機ととらえ、追い風に乗り村政発展に尽力して参りたいと決意を新たに、本村においてもこれからの第一次産業と観光産業の振興に大きく期待を寄せているところであります。

それでは、年頭に当たり、村政の主な基本方針について申しあげます。

まず1点目は、「行財政改革の推進による健全財政の確立」であります。事業の効果や必要性など十分な検討を行い、常に「最小の経費で最大の効果」を目指し、健全財政の確立に努めて参ります。

2点目は、「農林水産業の振興による雇用創出と販路の確立による村の活性化対策」であります。村の活性化はやはり第一次産業の振興が第一との考えから、これまでの振興策の継続・強化に務めます。また、昨年設立いたしました、合同会社「ひらとみ」の機能の充実に努め、農業振興、雇用創出、特産品の販路拡大等、本村の課題解決に取り組みます。

3点目は「観光振興による交流人口の拡大」であります。奄美群島国立公園が誕生し、世界自然遺産登録も間近となりました。交流人口の増加に対応するため、本村の立地条件を活かした観光振興に向けた取り組みを進めながら、本村の活性化に努めて参ります。

4点目は「企業誘致と定住促進対策の拡充」であります。本村の喫緊の課題である人口減少に歯止めを掛けるためにも、新たな企業誘致の実現に取り組むとともに、定住促進対策の充実や強化に努めます。その他、「子育て支援の推進」、「道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進」、「安全・安心な大和村づくり」の、合計7つの基本方針を推進し、村民と共に明るく心豊かな「まほろば大和」の創造に取り組むことで、「村民が主役・小さくとも光輝く村づくり」の実現に邁進して参りたいと思っております。

先人が築き上げた功績を守りながら、「豊かな自然や伝統文化」を継承し、後世に残していくための施策を推進していきながら、大和村の基本理念である「自然と共生し、生き生き、安全・安心な住みよい村づくり」の実現に向けて努力して参ります。

以上のこと等に、全職員一丸となって、全力を尽くして参る所存でありますので、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限りないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。



大河ドラマ「西郷どん」  
オープニング撮影地  
宮古崎  
(奄美群島国立公園)

© 鹿児島県



## ご成人おめでとうございます

二十歳の記念日・成人式が1月4日、大和村防災センターで開催されました。平成9年度生まれの31人が成人を迎え、13名が式に出席しました。久しぶりに再会した仲間たちと成人の門出を喜び合いました。

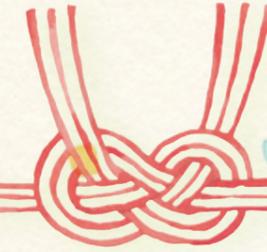
藤井教育長が、「これからの人生において喜びも、悩みも、苦しみもあるでしょう。人に優しく、自分には負けないストゴレ魂で、志を果たして欲しい」と式辞を述べました。続いて、伊集院村長、大和村議会議長、大和村連合青年団長が祝辞を述べ、人生の大海を進み始めた新成人に激励の言葉を贈りました。

新成人代表の堀美南さんは謝辞において、昨年発症した難病について言及し、「私は誰よりも未来を語ります。明日に思いを馳せることができる喜びを知っているからこそ、苦しくても悔しくても絶対にあきらめません。ふるさと大和村を誇りに思い、一歩一歩未来を歩いていきます」と語りました。その力強く真摯な言葉に、会場は感動に包まれました。

また、式の後には珍しいサプライズがありました。10年前に行われた大和ダムの竣工式の際に、大島支庁河川港湾課と当時小学生だった新成人が埋めたタイムカプセルを掘り返したのです。出てきたものは、焼酎や、写真、「10年後の自分へ」と題した作文などで、懐かしさに顔をほころばせていました。将来と過去を同時に見つめた記念の一日となりました。



# 明日に思いを馳せる喜びを抱いて 新成人の誓い



### 大和校区



愛川蓮さん  
板前として一人前になり大好きな国直に帰ってきたい。



政村玲於奈さん  
両親、地域の皆さまに感謝の気持ちで一杯です。



三浦賢人さん  
ラグビーを続け、社会人、プロを目指します。



吉原唯さん  
作業療法士として大和村に貢献したいです。



神田佑八さん  
介護士として頑張りたいです。



元山さやかさん  
調理師の免許をとり大和村に尽くしたいです。



重信隆太郎さん  
家庭を築き「楽しく、良かった」といえる人生を送りたいです。



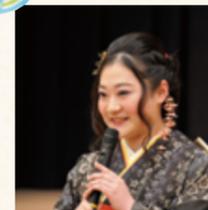
向井愛絵さん  
将来は島で教師をしたいです。

### 名音校区



勝朝美さん  
景色が綺麗で人が温かい大和村を誇りに思います。

### 大柵校区



堀美南さん  
大和村に帰ってきて医療の発展に貢献したいです。



徳島幸輝さん  
相撲に出会えた大和村に感謝。国体優勝を目指します。

### 今里校区



重野宏太さん  
仕事を頑張りつつ、村に貢献できるようになりたいです。



安原翼さん  
調理師としていろいろ学んで、奄美に帰ってきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。頂いたコメントを抜粋して掲載しています。



住み慣れた地域で、家で、いつまでも暮らしたい！と願うのは誰だって同じ。  
 自分だって認知症になるかもしれない。  
 お互い様、支えあいの精神で、気持ちよく地域で見守りができたら…

## あなたはどう思いましたか？

地域全体で暖かい見守り、手助け、声かけが1番大事な事ではないか  
 と思います

地域の方と共に  
 見守っていきたい

認知症になっても人格が  
 あると思います  
 社会の中で楽しく過ご  
 している姿に感動しました

本人の気持ちを理解してつき合っ  
 て行く事が大切だと思う

介護するときは明るくやりたい  
 隠さずに周りの人に理解を求めたい

特別な人という偏見で見るのではなく、普通の方々として付き合いをす  
 ることが大切だと思う。  
 思いやりの心を持つ！

徘徊すごすぎる、なんとなくわかっていたが  
 親が、と思うと涙が止まらなく出てくる中で、  
 自分に何ができるのだろう・・・と  
 すごく考えさせられた

他人事ではなく、将来自分もな  
 るかもしれないので、今から強く  
 意識して、食事、運動、交流の  
 場に多く出かけるようにしたいと  
 思います

認知症の母から教わるのが沢山あ  
 るという言葉に共感した  
 相手を全て受け容れて、  
 その方のペースに合わせて見守っ  
 ている姿に打たれた

どちらの両親も亡くなっている私は、  
 主人が認知症になったとき、  
 あこ姉さん（娘）みたいな対応ができるよう  
 になりたいと思いました

介護をしている家族を地域で助けら  
 れる事があれば手伝いたい  
 いずれ、誰でも経験する時代が来  
 ると思うので地域の方の理解が必要

### こんなご意見も…

「現在母親が認知症で、私がお家に住んで見ています。父が認知症の対応が理解できず大変ですが、楽しくやっています。母と接する上で毎日新しい発見があり笑っています。」

「こんな風に介護できるとすばらしいですね。過去に親2人をみましたが、いらついでケンカばかりだったと思います。」

「実の親だから出来たのでは？」

「ある程度の収入があってできているのかなあ」

「自分が認知症になった時最後までどうしたいかと家族にも伝えておきたい」

「いつも冷静に楽しく受け止めることは難しい」 などなど



体験談など貴重な意見が交わされました



八田冷子先生と会場の様子

### 「認知症だって、一生に一回のママリンの老後。」

「徘徊」公式ホームページ (hai-kai.com) より  
 大阪北浜。大都会のド真ん中に、ちょっと訳ありの母娘が住んでいる。母は認知症、娘は自宅ギャラリーを営む。昼夜の別なく徘徊する母を見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも寄る。そんな二人の生活は6年になる。「老いには勝てぬで、徘徊もショートになってきましたが…」不条理な生活をユーモアでしのぐ。認知症と共に暮らすこと…、老いとは…、人間とは…。



支え合い商店街の様子

テーマは「認知症」  
 12月10日（日）、第6回大和まほろば福祉まつりが大和村防災センターで行われ、およそ200名が参加しました。地域支えあいグループの手作りの品の試食や農産物の販売が行われる恒例の支え合い商店街は今も大盛況でした。さて、今回のテーマは「認知症」。大和村内では100名以上が認知症であるか、その疑いがあるとされています。65歳以上の6人に1人が認知症という計算になり、誰もが認知症になりうるということがわかります。高齢者世代、介護を担う世代のどちらもが身近に感じるテーマではないでしょうか。しかし、その実情はよく知らないという方も多いでしょう。介護する特定の誰かだけに負担がかかっているだけ、「本人はいいよね、何もわからないんだから」と、認知症患者本人に気持ちや人格が消えてしまったかのように誤解してしまうこともあるかもしれません。この福祉まつりが「認知症」のことをもう一歩深く考えるきっかけになったら幸いです。  
 ドキュメンタリー  
 「徘徊 ママリン87歳の夏」上映  
 認知症を患い徘徊を繰り返す87歳の母と、それを見守る娘の日常を赤裸々につづったドキュメンタリー映画「徘徊 ママリン87歳の夏」を上映しました。映画の後、コーディネーターに鹿児島純心女子大学の八田冷子先生を迎え、意見交換会を行いました。そこで出た意見やアンケートに記入いただいたご意見の一部を次ページで紹介いたします。あなたはどう感じましたか？近くに認知症の方、その家族がいたら、あなたはどうしますか？

### 文化財をまもるため消防訓練

1月18日(木)、開饒神社<sup>ひらたか</sup>で文化財防火デーの防災訓練が行われました。村教育委員会が企画し、大和消防分駐所の協力のもと実施されました。参拝客の不注意により神社の一部から出火し、風にあおられ高千穂神社や山への延焼の危険があるとの想定で、初期消火、119番通報、文化財にみたてた重要物件の搬出、消火までの一連の動きを訓練しました。文化財は唯一無二の宝です。日頃から火災予防にご協力ください。放水により雪が積もったように木々が白くなっていますが、これは効果的な消火活動ができ、水も節約できる泡の消火剤を使用しているためです。泡消火剤は、人体にも植物にも無害だそうです。



### 初泳ぎで一年元気に

1月2日(火)、大和村水泳連盟(伊集院幼会長)主催の新春初泳ぎが国直海岸で開催されました。新春恒例の初泳ぎは今年で36回目の開催です。およそ30名のスイマーが参加し、元気に海に駆け込みました。開始に先立ち伊集院会長が「冷たい海に入ることで身を清め、一年を健康で過ごせるように元気に泳ぎましょう」と参加者を激励しました。入念な準備運動で体を温めて一斉に海へ。この日の気温は17度と穏やかな気候でしたが、真冬の海はやはり冷たく、寒さをこらえ沖合まで泳ぎ、全員が輪になって三本締めで一年間の無病息災を願いました。



### お見事！五色のアーチ 消防出初め式開催

1月7日(日)、大和中学校グラウンドにおいて、一年の無火災・無災害を祈念して消防出初め式が開催されました。一斉放水演習では、消防団員の機敏な動作でホースが瞬く間に延長され、グラウンドに見事な五色の放水アーチが架かりました。冷たい小雨の降り続く中でしたが、士気を下げることなく演習を続けた団員の姿に、村の安全安心を担う意気込みが感じられました。



- 表彰を受けたのは次の方々です。  
(敬称略)
- 消防功労者消防庁長官定例表彰 竿頭綾
  - 大島地区消防組合・大和村消防団(連名)
  - 鹿児島県消防協会表彰 精績章
  - 第5分団 団員 重野 浩也
  - 大島支部長表彰 功績章
  - 第2分団 分団長 直島 秀治
  - 第5分団 分団長 山下 宗範



### 笑いのパワーでますます元気！

1月19日(金)、大和村老人クラブ交流会が大和村防災センターで行われました。老人クラブがある10集落から約180名が参加。鹿児島県民総合保健センターの黒木晶子さんを講師に迎え、「高齢者のための健康づくり、心と体のセルフメンテナンス『筋膜ケア』」と題した講演があり、体の機能回復や活性化が期待できる筋膜マッサージが紹介され、参加者も体験しました。余興の部では、各集落から趣向を凝らした替え歌や出し物が披露され、会場は大きな笑い声に包まれました。シニア世代の元気の源は、みんなで集まり楽しく笑うことなのかもしれません。



### にぎやかに年の祝い開催

1月17日(水)、特別養護老人ホーム大和の園で年の祝いが行われました。年の祝いは、数え年13歳以上のその年の干支にあたる人が対象となる奄美や沖縄で行われる厄ぼらいの祝いです。大正11年生まれで今年96歳になる奥田イシさん、渡辺ハマ子さん、三島ミツエさん、原井堀江さん、昭和9年生まれで84歳になる重ナヲコさん、前田清光さん、福山艶子さんの7名が該当者で、家族と共に盛大なお祝いが行われました。伝統のお祝い料理の三献を召し上がりながら、祝唄、祝舞、大和の園職員による余興などを楽しまれました。



### 大河ドラマ「西郷どん」に宮古崎！

1月から放送が開始されたNHKの大河ドラマ「西郷どん」の撮影が大和村で行われたことは、前号でもお伝えしたとおりですが、オープニング映像はご覧になりましたか？夕焼け空の下、西郷隆盛役の俳優鈴木亮平さんが岬を駆け下り、腕組みをして海を眺めるシーンが宮古崎で撮影されています。これから来るであろう激動の時代を力強く受け止めようとしているような印象的なシーンです。上空からドローンで撮影されており、美しい岬全体が画面に広がります。「西郷どん」効果を期待して、大和村をどんどん盛り上げていきましょう！



大河ドラマ「西郷どん」  
【総合】日曜午後8時  
【BSプレミアム】午後6時  
再放送  
【総合】午後1時5分

### 正月準備はひらとみ朝市で

12月28日(木)、年末恒例のひらとみ朝市(主催：同実行委員会)が大和港思勝地区緑地広場で行われました。地場産の野菜や近海で水揚げされた新鮮な魚介類、正月飾りの門松やしめ縄などお正月に向けた商品が並び、大勢の村民で賑わいました。毎年人気を博している福元産の大根は、販売開始の午前7時よりも前にお客さんが詰めかけ、販売が始まると即完売となりました。若手職員による餅つきでは威勢のいいかけ声上がり、年の瀬ムードが漂いました。つきたてのお餅、ぜんざいや魚汁の振る舞いがあり、空が白みゆく中、来場者は体を温めていました。





# どうくさむんがたり

大和診療所だより  
Vol. 16

チャイルドシートは後部座席に 文/小川信

我が国における1歳以上の子どもの死因統計では、交通事故が上位を占めています。2年前にもお話ししたテーマですが、未だにベビーシート/チャイルドシート（以下、チャイルドシート）を後部座席ではなく、助手席につけた自動車をみかけます。病気を防ぐより事故を防ぐ方が簡単で大事であるのに、大変残念です。

6歳未満の乳幼児にはチャイルドシートを使用することが義務化されています。チャイルドシートを使わなかった場合の死亡重傷率は、使った場合に比べて約2.1倍です。さらに国土交通省によるとチャイルドシートは後部座席に取り付けるよう勧告されています。エアバッグが作動したとき運転席または助手席は、かなりの衝撃を受けます。助手席に設置されたチャイルドシートに座った乳幼児がエアバッグの衝撃を受けると、通常の座席よりも前で衝撃を受けるため、顔面や頭部、頸部に大きなダメージを受けることになります。米国で1996年には衝突事故などによって前席エアバッグが動作したことで、26人の幼児が内臓破裂などで命を落としたと報告されています。作動したエアバッグが新生児の頭を吹き飛ばしたという痛ましい事故もあります。前向き後ろ向きにかかわらず、助手席にチャイルドシートをつけるべきではありません。一般的に、身長が約140センチあれば助手席にて大人用シートベルトが使用できると考えられています。みなさん、チャイルドシートの適正使用により、かけがえのないシマの子どもの命を守りましょう。



【引用】国土交通省 [http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/02assessment/car\\_h20/safetydevice/childseat.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/02assessment/car_h20/safetydevice/childseat.html)  
日本自動車連盟 <http://www.jaf.or.jp/inter/sign/seatbelt.htm>



地域おこし協力隊 小海もも子の

ワンダー奄美

# Wonder Amami

## 第10回 人口減少問題から未来のことを考えてみる

大和村の地域おこし協力隊となり2年が終わろうとしています。本来なら任期終了後の進路に向けて準備を始める時期になるのですが、私は結婚し、1月から産休に入り、もうすぐ出産と、大和村に本格的に根をおろしたという感じがします。

こうなると今まではなかった“子どもを持ついち住民”としての目線が生まれて来るもので「人口減少が進み村内での食物の確保が難しくなるのでは?」「少人数で子どもに満足のいく教育を与えられるのだろうか」「子どもが帰って来なくなるような島でいられるのだろうか」など考えるようになりました。

そこで少し調べてみたのですが、日本の人口は約1億2659万人（2018年1月）で、世界11位。しかし面積がほぼ同じドイツは8267万人と日本より少ないのですが、人数に見合った社会を形成

しているように感じます。逆に今まで日本の人口が多すぎたのかもしれないと仮定すると、現状維持ができないことに不安を抱くよりも、適正な人数に向けてのサービスの向上や、スペースや資源の有効活用が可能になるのではと思います。そしてそれは大和村にも当てはまります。

私の今後の活動……というライフワークは、大和村で幸せに暮らすこと、豊かな自然の恵みを満喫すること、そしてそれを発信することで、興味を持ってくれる人を増やしたり、訪れる人を増やしたりすることだと思っています。

大和村は良いところです。そしてさらに良くしようと努力されている方々もたくさんいます。長期展望で、且つ世界の事例を参考にしながら、手を動かし知恵を絞り、周囲の人たちと歩んでいけたらと思います。

世界自然遺産  
をめざす

第5回

## 大和村生まれ(?)のザトウクジラが熱い!!

ワキヤシマの  
いきむんマンディ

今回からは奄美自然体験活動推進協議会の吉田明美さんに寄稿いただきます。



奄美の冬に観察することができる生き物のひとつがザトウクジラです。船上から観察するホエールウォッチングが一般的ですが、大和村には陸上からでも観察できるスポットがあるのをご存じですか?

宮古崎と嶺山公園ではブロー（潮吹き）やブリーチ（ジャンプ）をしている姿を見ることができるんですよ。

ザトウクジラは季節ごとに移動しながら生活しています。奄美群島や沖縄で見られるザトウクジラは、夏の間はエサが豊富に食べられるカムチャツカ半島沖やベーリング海峡で過ごします。冬になると奄美・沖縄・フィリピン北部の暖かい海まで南下し、交尾や出産、子育てをします。日本で見られる全てのクジラが奄美～フィリピン北部で生まれているので、なかには大和村民?もいるかもしれませんね。

1月頃から4月頭頃がシーズンです。今年の冬は、厚着をしてクジラを見に行きましょう!

## 未来をひらけ! 合同会社 ひらとみ奮闘記

ひらとみ（開鏡）とは…「ゆたかさを切り拓く」の意味  
社名は、サトウキビ栽培の祖「直川智」を祀る開鏡神社から命名

第4回は、地域おこし協力隊  
小泉理恵が合同会社ひらとみの  
日々の業務をお伝えします!



かどしまの逸品商談会に合同会社ひらとみとして参加しました。

昨年10月より大和まほろば館で勤務しています。大和まほろば館が皆さんにとっても働くスタッフにとっても、より良い施設になるように活動しています。お立ち寄りの際は声をかけていただくと嬉しいです♪

大和まほろば館の商品を村外へPRするため、販売先の拡大に取り組んでいます。現在定期的にホテルビッグマリンさん、山羊島ホテルさん、浜千鳥館さんへ商品を卸していますので、「まほろば館の商品が買いたいけどうちの近くにないかしら?」なんてお友達がいたら教えてあげてくださいね。

また、各種商談会や、物産展出店など県外各地へのPRも行っており、どんどん大和村産への注目度が高まれば良いなあという日々奮闘しております。

奄美大和ゲストハウス「そのうち」

<https://www.facebook.com/sonouchi810/>  
こちらもじわじわ稼働中です。現在内装整備中!使わなくなった家具や自転車などありましたら譲っていただけるとありがたいです。  
(TEL: 090-6503-6476 小泉まで)

## 石綿による疾病の補償・救済について

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に従事していたことが原因であると認められた場合には、労災保険法に基づく各種の労災保険給付や石綿救済法に基づく特別遺族給付金が支給されます。石綿による疾病は、石綿を吸ってからの非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などでお亡くなりになられた方が過去に石綿業務に従事されていた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性がありますので、まずはお気軽に鹿児島労働局または最寄りの労働基準監督署にご相談ください。

制度のご案内は厚生労働省ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/120406-1.html>

## 奄美奨学会員と生を募集しています

公益財団法人奄美奨学会は、奄美大島出身者の子弟で、大学等に在学し、成績優秀、心身健全でありながら、経済的な理由により修学困難な方に必要な資金を貸し付け、有用な人材を育成することを目的としています。詳しくは、奄美奨学会までお問い合わせください。

学校	金額	貸付期間
高専・短大・大学生	3万円/月	正規の修学期間
大学院生	35万円/月	正規の修学期間

□選考方法 願書は4月末日締切。書類選考および面接を行い5月中に決定。

## 身体に負担をかけない「がん陽子線治療」

### 陽子線治療とは

陽子線は従来の放射線とは異なり、身体の中を通過せずに止まる性質があります。また、止まる位置でエネルギーが最大になるという物理特性があり、そのため、身体の中のがん病巣のみを狙い撃ちできるため、まわりの正常組織への影響を最小限に抑えることが可能です。治療中は痛みや熱など何も感じることはありません。

### 陽子線治療の治療費

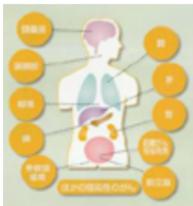
治療の技術料として288万3千円、その他、保険診療分の費用を合わせ、約300万円かかりますが、民間のがん保険や先進医療特約の保険を利用することが可能です。

- ✓ 2016年4月より小児がんは保険適応になりました。
- ✓ がんの種類や大きさに関わらず、1つの腫瘍に対しての金額となります。

### 治療できる疾患について

治療できる主な疾患は、頭頸部、肺、肝臓、膵臓、腎臓、前立腺などの固形がんに対して有効になります。

ただし、胃や十二指腸、大腸などの消化管は対象外となります。また、多発している場合なども適応にならない可能性があります。



### 早期乳がん陽子線治療の開始（世界初）

陽子線単独による早期乳がん治療のフェーズIの臨床試験（無償）の4例を無事終了し、効果安全性評価委員会において、安全性について確認していただいております。いよいよフェーズIIの臨床試験20例以上（無償）を実施いたします。現在、臨床試験への参加者募集中です。

### 特徴やメリット

- 1 治療時の苦痛がほとんどない
- 2 副作用の心配が少ない
- 3 治療は1日1回・15分～30分程度
- 4 基本的に入院の必要がない
- 5 スケジュール通りに治療が完了できる

### 鹿児島県による「粒子線がん治療費利子補給事業」

鹿児島県においては、平成23年4月より「陽子線治療」を受けやすい環境を整備するため、患者さんまたはその家族などが、金融機関等から治療費の借入れを行った場合の利子の一部を助成する制度「粒子線がん治療費利子補給事業」も開始されています。

- ▶ 対象借入金 銀行等からの借入金のうち陽子線治療料相当額ただし、2,883千円が限度額となります。
- ▶ 利子補給率  
年利率(6%以内)の100%……非課税世帯(住民税)  
年利率(6%以内)の50%……世帯全員の課税総所得金額が600万円未満
- ▶ 利子補給期間 5年を限度とする

※詳しくは県のホームページ(<https://www.pref.kagoshima.jp/>)または県庁地域医療整備課 (☎099(286)2693)まで

一般社団法人 メディポリス医学研究所  
メディポリス国際陽子線治療センター  
〒891-0304 鹿児島県指宿市東方5188番地  
E-mail: info@medipolis.org  
HP: <http://www.medipolis.org>  
☎: 0993-23-5188、☎: 0993-24-3450

～患者さん相談窓口～  
☎ 0120-804-881

どのようなことでも、  
ご遠慮なくお問い合わせください。



## 開発基金を利用してみませんか？

### 開発基金とは？

奄美群島の産業の振興を図るため、その事業に携わる皆様を金融面でサポートしています。

融資業務利率（参考 H30.1.18時点）  
年0.30%～年2.76%（一部の資金は鹿児島県から利子補給があります。）  
融資期間 最高20年

### お問い合わせ先

独立行政法人奄美群島振興開発基金 業務課  
Tel. 0997-52-4511 Fax 0997-52-4514  
～お気軽に電話ください～  
E-mail [kikin@amami.go.jp](mailto:kikin@amami.go.jp)  
Homepage <http://www.amami.go.jp/>

農林業を営む方

水産業を営む方

観光関連業に携わっている方

地域の資源を生かした仕事をしている方

地域活性化や雇用促進の為の事業をしている方

これから事業を始めたいと考えている方

## 年金事務所からのお知らせ

奄美大島年金事務所では、お客様サービスの向上、窓口相談における待ち時間解消と相談時間の短縮を図ることを目的として、予約制で年金相談を行っております。年金相談のご予約は、相談希望日一ヶ月前からお電話又は年金相談窓口でお受けしております。

ご予約を受ける際には、相談者及び配偶者氏名、基礎年金番号、電話番号、相談内容等について確認させていただきます。代理人の場合には、委任状と来所させられる方の本人確認ができるもの（運転免許証等）が必要となります。

□予約お申込み電話番号

奄美大島年金事務所 お客様相談室

電話：0997（52）4341

（音声アナウンス後（途中でも可）1番の後に2番をダイヤルしてください）

## 「緑の募金」運動へご協力ください

平成30年2月1日から「緑の募金」運動がスタートします。

「緑の募金」として皆さまから寄せられた募金は、身近な地域や国内外で様々な「森づくり・人づくり」活動に活かされています。

村民の皆さまのご協力をお願いいたします。





辻原 舞衣さん

父 龍一さん 母 沙優里さん (大和浜)  
保護者からのメッセージ  
「すくすく元気になあれ」



重信 あまねさん

父 日隆さん 母 優香さん (大和浜)  
保護者からのメッセージ  
「健やかで明るい女の子になってね」

# 鳥の宝

満1歳おめでとう

## 表紙写真の紹介



「西郷どん」ロケ地の宮古崎です。「西郷どん」を毎週楽しみに見っていますが、オープニングで宮古崎のシーンになると思わず拍手してしまいます。ここ大和村の美しい風景が全国にどんどん知られるようになればいいですね。

## こせきの窓

人口 1,524人 (△16)  
男 744人 (△2)  
女 780人 (△14)  
世帯 871世帯 (+23)

12月28日現在  
(前年同月比)

ふるさと納税  
ありがとうございます  
伊藤圭佑様 (名古屋市)  
東秀広様 (大阪市)  
坂根隆弥様 (香川県)  
中島慶人様 (大阪府)  
竹下佳宏様 (千葉県)  
野澤明弘様 (長野県)  
栗根尚子様 (相模原市)  
谷本敏之様 (大阪府)  
村上勲様 (埼玉県)  
井橋由李子様 (埼玉県)  
押川輝和様 (東京都)  
中濱寛様 (東京都)  
山田美佐子様 (長崎県)  
長谷川千紗様 (静岡県)  
飯田真弓様 (愛知県)  
小川庄司様 (千葉県)  
小林礼子様 (奈良県)  
小林奈穂子様 (東京都)

佐藤寅工門様 (東京都)  
奥村貴志様 (東京都)  
齊藤友也様 (東京都)  
森泉孝裕様 (浜松市)  
小鷲宏昭様 (川崎市)  
藤本勝様 (神奈川県)  
東浦正也様 (奈良県)  
廣川朝夫様 (北海道)  
田中綾様 (千葉県)  
新井悟様 (東京都)  
鈴木順子様 (神奈川県)  
牧野克俊様 (三重県)  
吉原安久様 (沖縄県)  
遠藤耕一郎様 (川崎市)  
伊成実様 (東京都)  
中井茂樹様 (東京都)  
中島建哉様 (川崎市)  
佐藤亜逸子様 (埼玉県)  
浅見春次様 (愛知県)  
名古屋勝様 (横浜市)

お誕生おめでとうございます  
松田 侑さん (父正母知子・湯湾釜)  
安住 月稀乃さん (父豊和母環・大柵)  
上村 彪真さん (父拓三母りりあ・湯湾釜)  
お悔やみ申し上げます  
池田 吉忠様 (82歳・今里)  
森山 アキエ様 (86歳・戸田)  
香典返し (社会福祉協議会へ)  
池田政子様 (故池田吉忠様)  
森田節美様 (故森田修正様)  
一般寄付ありがとうございます  
森山道夫様 (大阪市)  
広報誌送付謝礼  
ありがとうございます

# 飼い猫はルールを守って飼いましょう!!

2月は「猫の適正飼養推進月間」です。

県内では、昨年度1,902匹の猫が保健所に引取られています。

「飼えなくなった」という理由で、  
引取りを依頼する前に、飼い主  
としての責任を果たしましょう!!



## 最後まで責任を持って!!



### 室内飼い

交通事故、猫同士のけんか、感染症などから猫を守りましょう。排泄物の処理や鳴き声による騒音防止、ゴミを荒らしたあとの始末など、周囲の人へ配慮することも飼い主の責務です。

また、飼い猫の放し飼いによる野生生物への被害防止になります。



### 繁殖制限

猫は繁殖力が旺盛な動物です。1匹のメス猫から子猫が生まれ、1年後には合計20匹以上に増えることもあります。責任を持って世話ができて頭数なのかをよく考えましょう。また、不妊・去勢手術は、病気の予防やストレスの軽減、マーキング行為の減少にもなります。



### 所有者明示

飼い猫だと分かるように、しっかりと所有者を明示しましょう。たとえ室内飼いであっても、開いたドアからの脱走や突然の災害で行方不明になっても首輪に鑑札や飼い主の連絡先、猫にマイクロチップを装着していれば飼い主の元に戻ることができます。

※必ずお住まいの市町村で飼い猫の登録を!!

問い合わせ先 名瀬保健所 0997-52-5411

飼い猫の登録は大和村役場住民税務課まで 電話 0997-57-2127 (直通)

# 昭和天皇と宮古崎

昨年11月、今上天皇が与論、沖永良部島を訪問され話題になりましたが、平成15年の日本復帰50周年記念、皇太子時代の昭和43年鹿児島で開催された明治百年記念式典終了後の奄美訪問と合わせて3回目の奄美訪問でした。

昭和天皇は、昭和47年鹿児島で開催された太陽国体のとき奄美まで訪問されていますが、即位までもない昭和2年にも奄美視察の目的で名瀬市、瀬戸内町を視察されています。昭和2年8月6日御召艦山城にて名瀬港に入り、翌日、海路で大和沖を通り瀬戸内町へ向かっています。御召艦山城が宮古崎のあたりを通過したとき、艦上から宮古崎を眺めていた陛下は、ササに覆われていることにお気づきになられ「あそここの山は木が生えていないね」とつぶやかれたそうです。それを聞いた当時の県知事が恐縮し、翌年、宮古崎一帯にリュウキュウマツの造林を通知しました。この時植林したマツの一部は成木となり立派に成長していましたが、すべて松食い虫の被害にあい現在は見る事ができません。

昭和天皇が大和村に近づいた記念として浦内地区有志一同は、昭和7年3月、思勝尋常高等小学校（現大和小学校）にコンクリート製の正門を建造しました。門の裏には陛下行幸記念にこの正門を建造したことが書かれ、有志一同の名前が記されています。現在は利用されていませんが、卒業生にはなつかしい姿を保っています。

【参考文献】「島を見直す」 基俊太郎



当時の校名のまま残されている



86年前に作られた正門



行幸記念碑  
赤くなっているのは拓本をとった跡。内容は左のとおり。

## 聖上陛下

### 鹿児島行幸記念

昭和六年一二月 起工  
同七年 三月 竣工

工事施工寄付者芳名

伊集院 源熊

城 武司

井原 新

登 源五郎

森永 八十七

千秋 源吉

## 芳名

村長 松元 福次郎  
助役 富田 貞次郎



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。  
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場総務企画課  
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161  
mail:info@vill.yamato.lg.jp  
<http://www.vill.yamato.lg.jp>